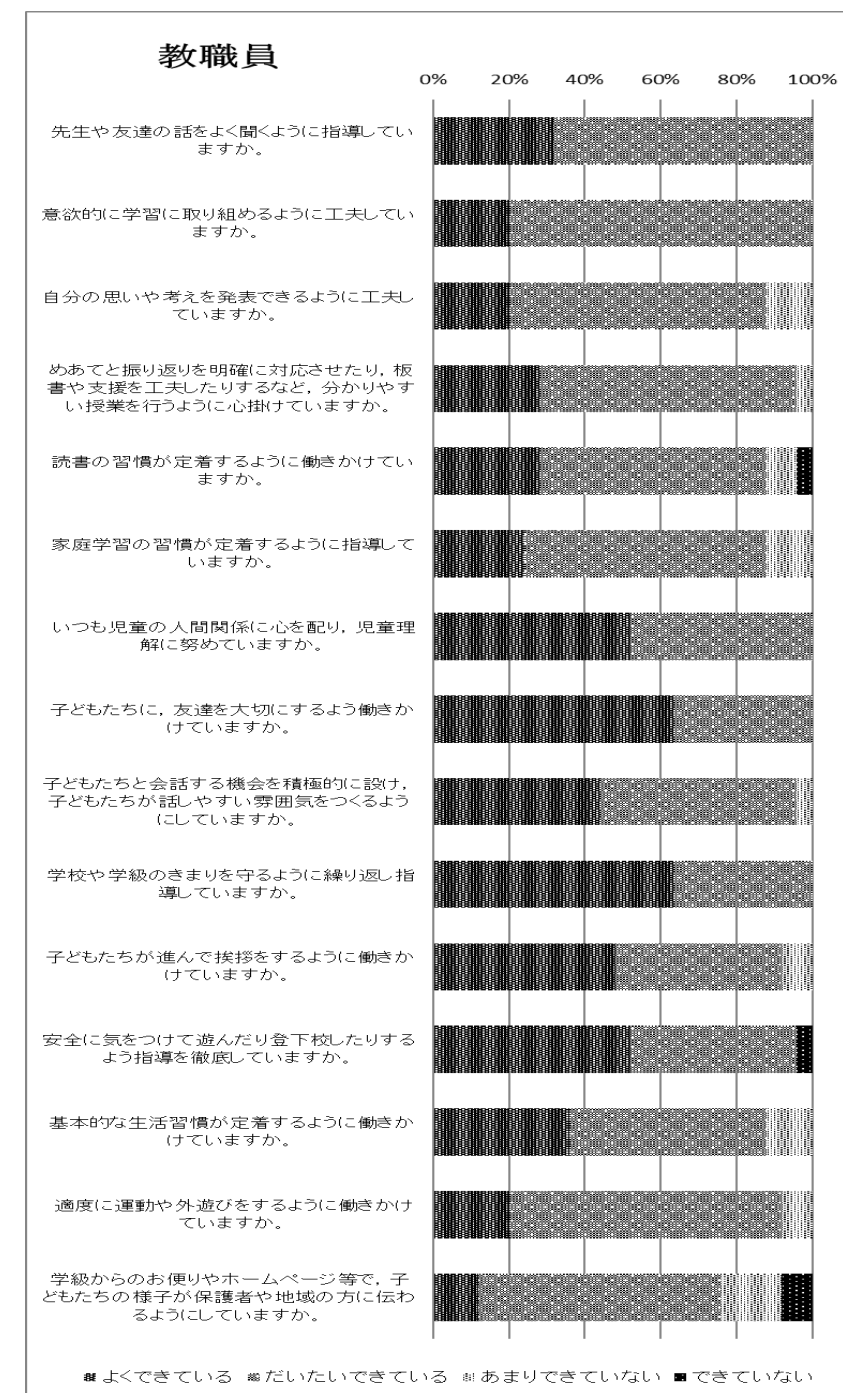
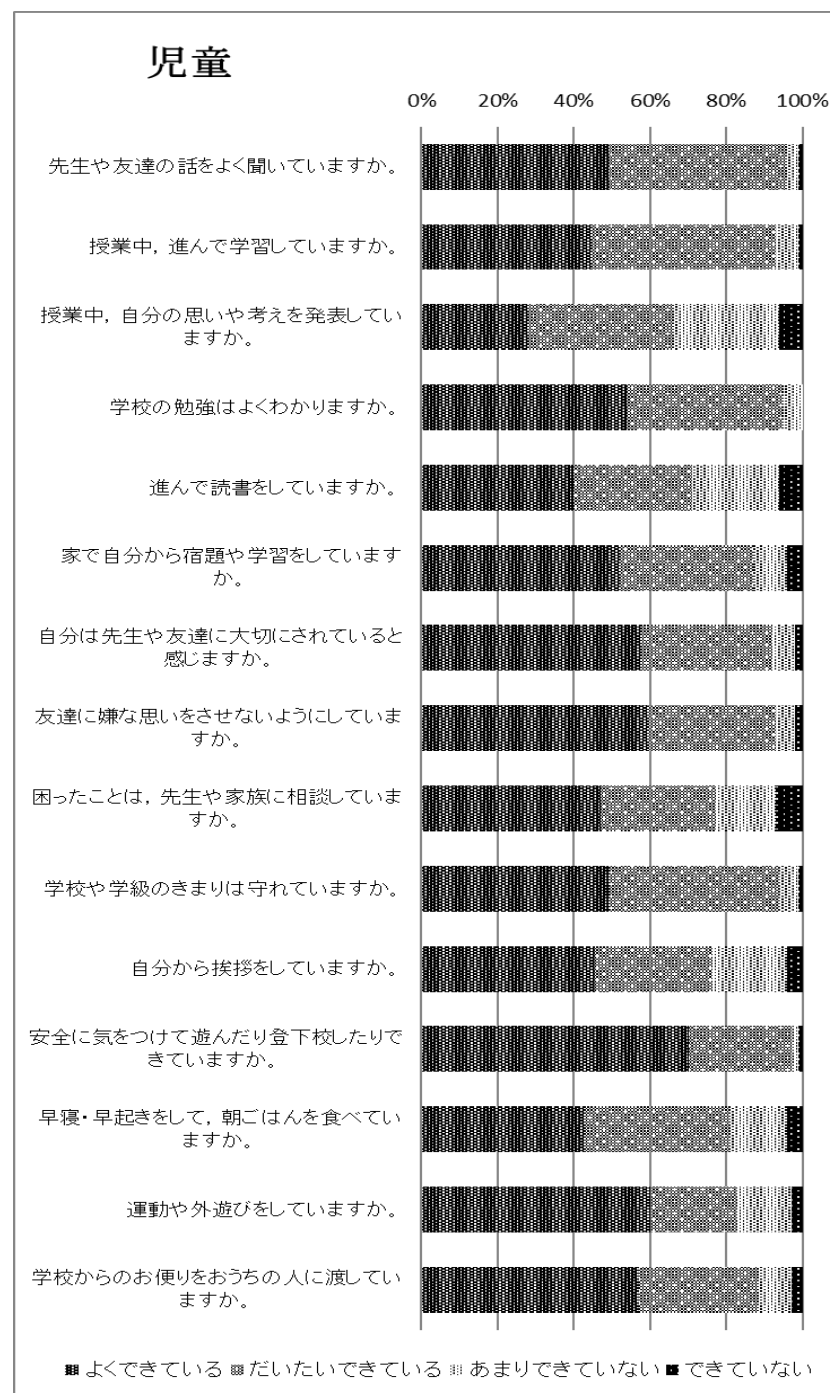
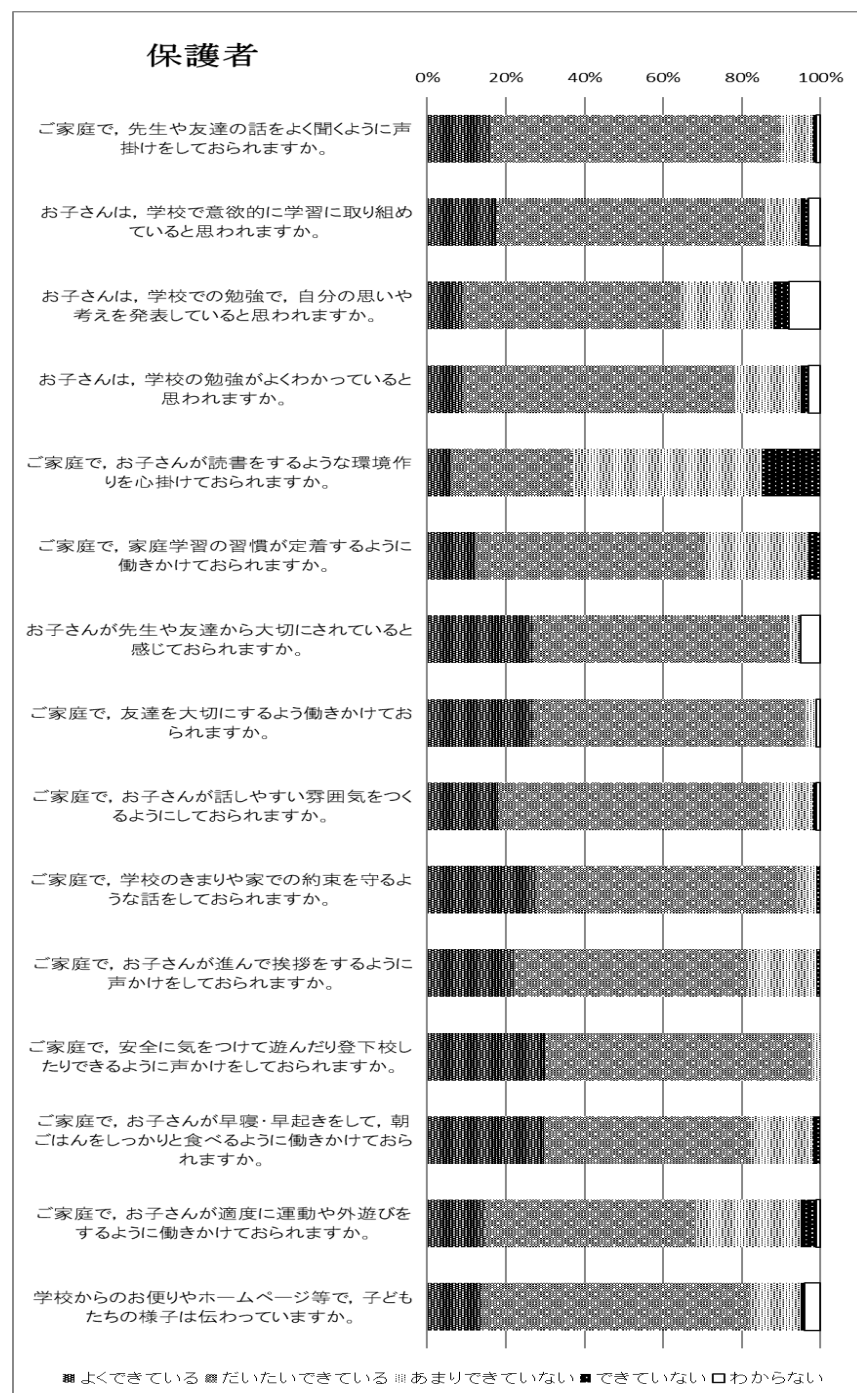


本年度後半の本校教育活動を振り返り、今後の教育活動の更なる向上のために実施いたしました「令和3年度第2回学校評価アンケート」の集計が終了いたしましたので、考察を加えてお知らせいたします。

全体の回答の結果



考察

表面では回答の概要をご覧くださいました。

裏面では回答の集計を受け、考察を加えた項目や保護者の皆さまからいただいたご意見をお伝えいたします。児童の学年による傾向も加えてみました。(比較のレーダーグラフの値は「よくできている」「だいたいできている」を合わせた「できている群」の割合です。)



羽束師小学校 めざす子ども像



めざす学校像

- ◇子どもが「楽しい！」と思う学校
- ◇『チーム羽束師』『羽束師ファミリー』
- ◇学校運営協議会、地域、家庭との連携
- ～温かい学校、家庭、地域でこそ良い子が育つ～

礼儀正しく 思いやりのある子

よりよい学びを 創る子

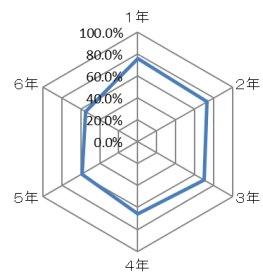
たくましく 生きぬく子

にこにこあいさつ ぴかぴかそうじ

『一人学び』と『みんな学び』

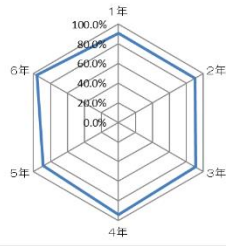
やればできる！ 羽束師の子

授業中、自分の思いや考えを発表していますか。



「できている群」の割合は、低学年で70%強、高学年では、60%弱となっています。本校では、児童同士が対話を通して考えを広げたり、深めたりすることができるよう授業を目指しております。めあてに沿った発問をすることによって、児童が主体的に学習に取り組めるようにしてまいりたいと思います。また、ペアやグループでの話し合い活動を増やし、児童自身が思いや考えを表現しやすい学級集団作りにも努めていきたいと思ひます。

自分は先生や友達に大切にされていると感じますか。

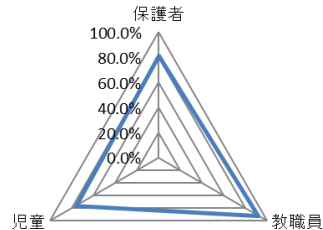


全学年の約90%の児童が「できている群」で回答しています。自分が大切にされているという気持ちが高まれば、自分の周りの人たちを大切にしようという気持ちも高まってくると考えます。その信頼関係を維持しつつ、自己肯定感を高め、楽しく学校に登校できるようにしていきます。気軽に先生に話ができるような雰囲気作りにも尽力していきます。また、年2回行う「いじめアンケート」「クラスマネジメントシート」を行ったり、必要に応じて教育相談を実施したりして多面的に児童理解に努めてまいります。

【保護者の自由記述から】

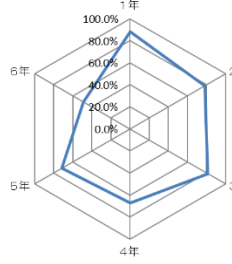
- 学校をお休みしたときに、担任の先生から宿題やお手紙をいただいたことで、「うれしい！早く学校に行きたい！」という気持ちをもつことができました。
- 学校行事等を開催するのが難しいなか、修学旅行も無事に和歌山へ行く事ができ喜んでおりました。旅行中のホームページもこまめに更新していただて、様子がリアルタイムで伝わり助かりました。
- 宿題で自主学習も始まり、時間を計りながら意欲的に頑張っています。宿題のノート等どれも丁寧に採点して見てくださるので、それが励みになっているみたいです。
- 学習面で社会科の授業が楽しいようです。日本の歴史に興味が出てきたみたいで、歴史上の人物に関する本などを家でも自ら進んで読むようになり、有難く思っております。
- 学校評価アンケートが紙からインターネットでのフォーム記入となり、記入ステップが大変低くなりました。ありがとうございます。
- △友達関係の偏りがクラスでも目立つのでクラス全員で遊ぶ時間などを作って仲良くできるような関わりを持ってほしい。
- 良好な人間関係構築のためにも、休み時間等にみんなで遊ぶ機会を積極的にもてるようにしていきます。
- △習った学習内容の定着として、小テスト等で身につける習慣があるといいと思ひます。
- 各学級の小テスト等の実施はもちろんのこと、これからも学校全体で「羽束師漢字検定」や「計算大会」等を行い、計算や漢字等の基礎・基本の学力向上に重点を置いた学習を進めていきます。
- △部活動ですが「ある」と聞いていた日に突然無くなったことがあり、急な変更は仕方ないことありますが出来れば予定を知りたいです。
- 今後は学校だよりの月行事予定欄に各部活実施の有無を入れて事前にお伝えいたします。また、学校内にも部活動掲示板を設置し、急な変更時にも随時子ども達には伝えていきます。
- ※この他にもたくさんのご意見をいただきました。アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

進んであいさつをする



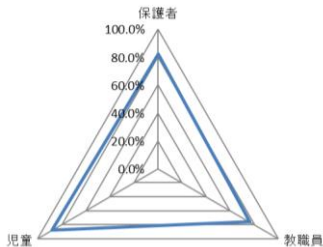
「できている群」の割合は、児童で76%、保護者、教職員では、80%以上となっています。挨拶や感謝の言葉は人と関わるうえでとても大切であると実感し、ご家庭でもしっかりと声かけをしていただてていることが伺えます。今後も、児童会等が中心となり、「あいさつ運動」等を通して多くの児童が進んで挨拶ができるように学校でも取組を進めていきます。

進んで読書をしていますか。



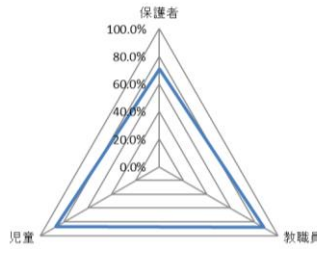
「できている群」の割合は、全児童で73%でした。学年が上がるにつれて、その割合は減少傾向にあります。学校図書館では、感染症対策を十分に行ったうえで活発な利用を推進しています。例えば一人2冊借りることができたり、通常の貸し出しと共に、教科学習で使用する本を先生と一緒に借りに行ったりしています。その成果として、児童への図書貸出冊数は増加傾向にあります。また、より読書への意欲・関心を高めるために1月下旬から「もちもち読書月間」の取組を始めます。今後も学校全体で読書活動を進めていきたいと思ひます。

学校からの情報発信 (お便りやホームページなど)



感染症拡大防止のため授業参観等の学校行事で学校の様子を見ていただく機会が限られているなか、ホームページ、学校・学級だより等で学校の取組や子どもたちの様子をお伝えすることの重要性と共に、保護者や地域の方々の期待を強く感じております。今後、どの学年においても学校内外の学習活動の様子を情報発信するよう努めてまいります。保護者の皆様におかれましては、ご自分のお子様の様子ももちろんですが、他の学年の活動、学校行事等、学校全体の取組についても是非学校ホームページを通して知っていただければ幸いです。

家庭学習



「できている群」の割合は、保護者で70%、教職員・児童で90%弱であった。多少の差はあるものの、年々増加傾向にあります。家庭・教職員・保護者全体で自主学習等の家庭学習を推し進めている成果が伺えます。学校では、全学年「ノート検定」を実施し、児童の家庭学習への意欲向上に努めたり、高学年では児童自ら学習内容や時間を計画・管理できるようにしたりしています。しかし、積極的に家庭学習に取り組んでいる児童がいる反面、なかなか取り組む習慣が身につかない児童もいます。一人一人に合った学習支援にも配慮しながら取組を進めていきたいと考えています。

地域の方よりいただいたご意見

- ・多くの子どもがしっかりと元気に挨拶することができていて、元気や安心感をもらっている。
- ・登下校時、交通ルールを守って登校している姿が見られる。しかし、人数が増えてくると4列に広がっていることもある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、マスクの着用や接触を避ける等の制約があるなか、コミュニケーションがとりにくい状況になっているが、その状況を悲観ばかりせず、今だからできる学びに目を向けてほしい。
- ・コロナ禍で学校を訪れる機会が減ってしまったが、学校だよりやホームページで情報発信をしていただくことで学校の様子がよくわかるのでありがたい。
- ・子どもが参加できる地域の行事等が中止や延期になることが多いが、コロナが収まったらまた元気に参加してほしい。



お忙しい中、学校評価アンケートにて多数の貴重なご意見をいただきありがとうございました。紹介している内容以外でも、学校の取組に良い評価をいただいたご意見もありますが、改善すべき点をご指摘いただいたご意見もあります。いただいた全てのご意見を真摯に受け止め、さらに羽束師小学校の教育を進展させるよう、教職員一同、精一杯努力して参ります。